

令和8年7月24日
国土交通省関東地方整備局
首都国道事務所

国道14号亀戸小松川立体 6車線運用開始1ヶ月後の交通状況

～下り線において、昼間の渋滞が減少～

令和8年3月28日（土）に暫定4車線としていた小松川地区Ⅰ期区間の江戸川区松島一丁目～東小松川交差点までの延長380mが6車線化となりましたので、1か月後の交通状況をお知らせします。

【渋滞発生割合の変化】

- ・渋滞発生の時間帯が減少

上り線における渋滞発生割合（7時～19時の昼間12時間）

開通前：約3.2時間 → 開通1ヵ月後：約2.7時間（約16%減少）

下り線における渋滞発生割合（7時～19時の昼間12時間）

開通前：約7.2時間 → 開通1ヵ月後：約1.8時間（約74%減少）

【東小松川交差点左折レーン新設（下り線）による効果】

- ・左折レーンを新設したことによる旅行速度が向上

開通前：約11.4km/h → 開通後：約16.5km/h（約45%向上）

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 都庁記者クラブ 千葉県政記者会
市川市政記者クラブ 松戸記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 首都国道事務所

電話：047-362-4111（代表） メールアドレス：ktr-syuto-koho@mlit.go.jp

副所長 山田（やまだ）（内線：205）

計画課長 外山（とやま）（内線：261）

国道14号亀戸小松川立体（小松川地区Ⅰ期）概要

○令和8年3月28日(土)に国道14号亀戸小松川立体【江戸川区松島1丁目から中央1丁目間(小松川警察署から東小松川交差点間)】が6車線運用を開始

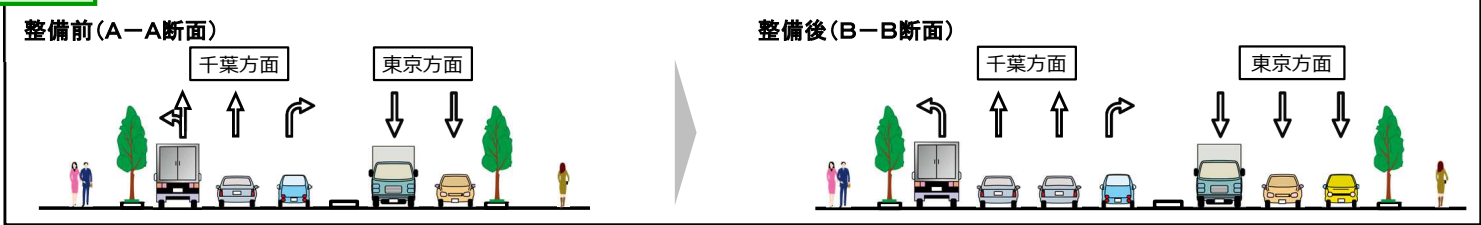
位置図



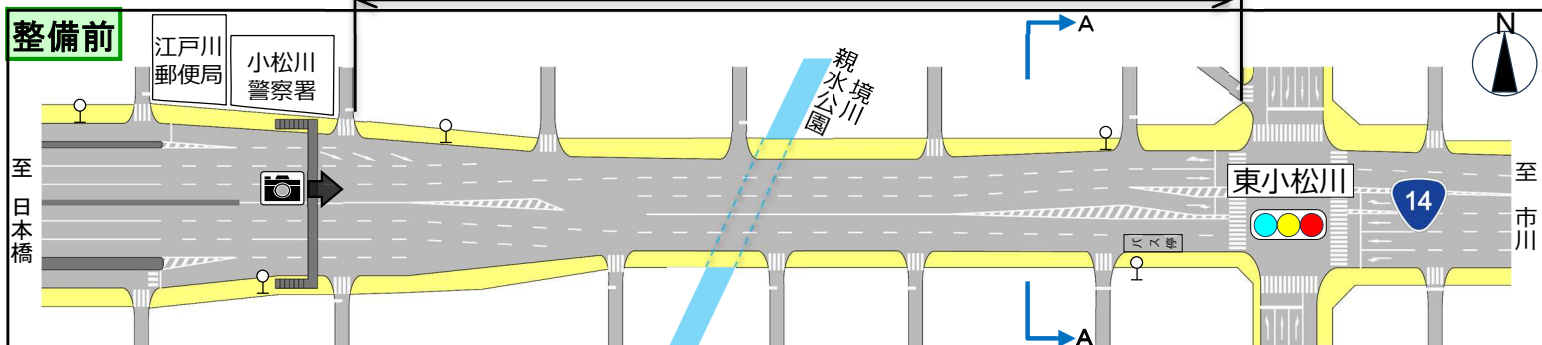
平面図



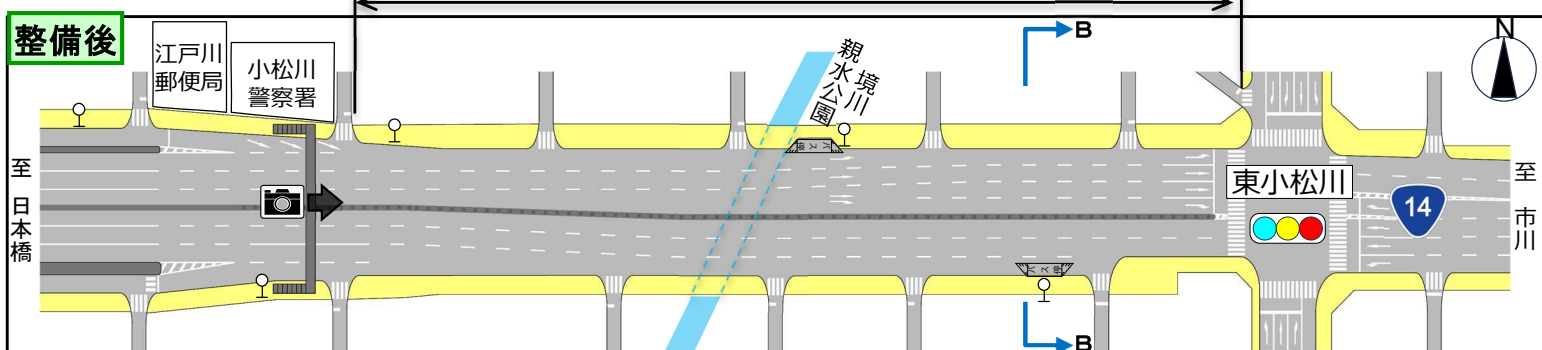
断面図



6車線開通区間(約380m)



6車線開通区間(約380m)



整備前



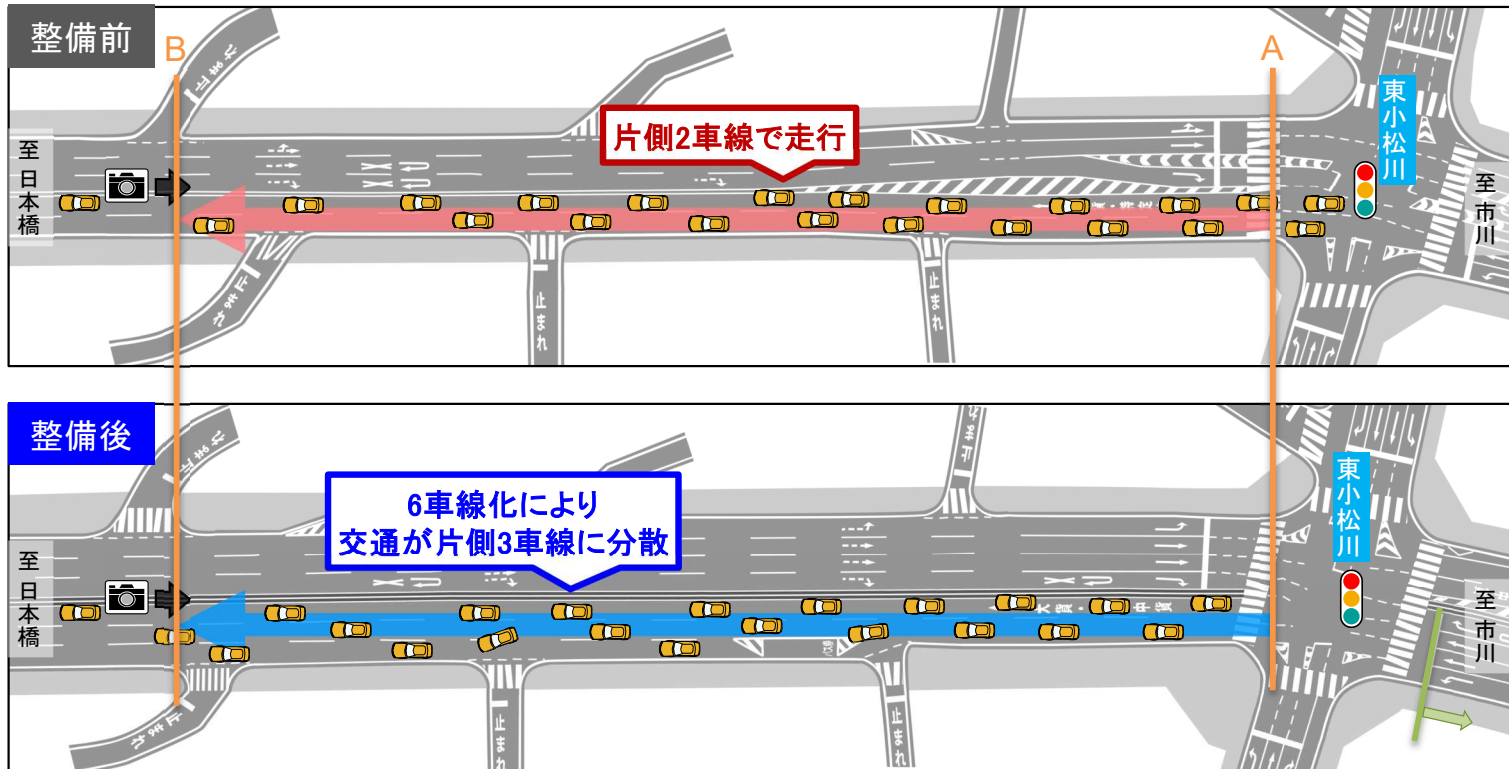
整備後



小松川地区Ⅰ期区間 上り線の整備効果

- 走行車線の増加により、通過する車両の旅行速度が約8%向上
- 日中を通して渋滞発生時間が約16%減少。特に朝の通勤ラッシュ時の渋滞長が減少
- 周辺企業からは渋滞が緩和し、スムーズに走行できるようになったとの声

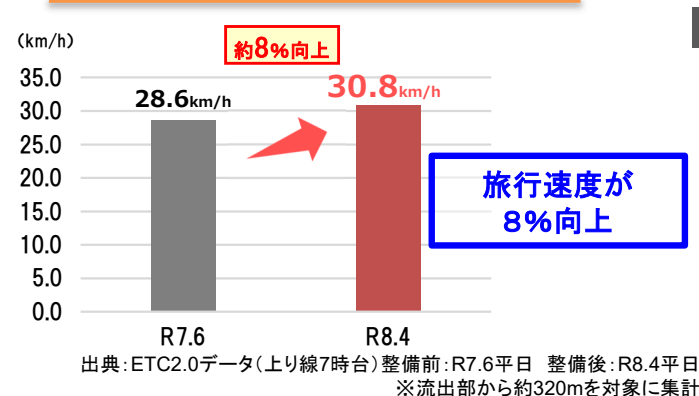
交通挙動の変化(上り線流出部)



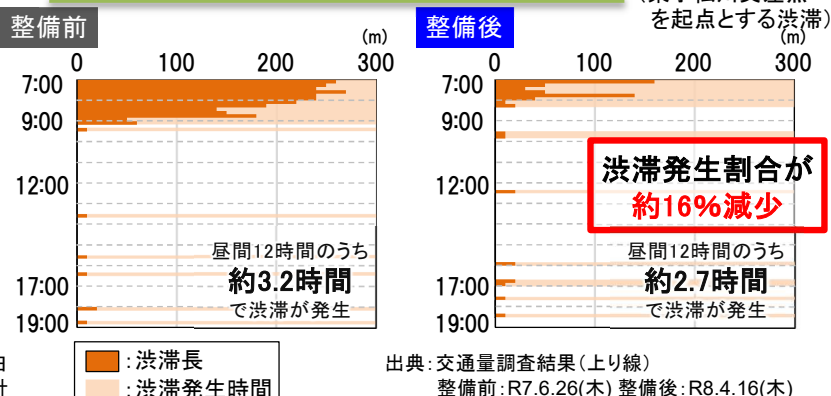
交通状況の変化



旅行速度の変化(A⇒Bの速度)



渋滞発生割合・渋滞長の変化



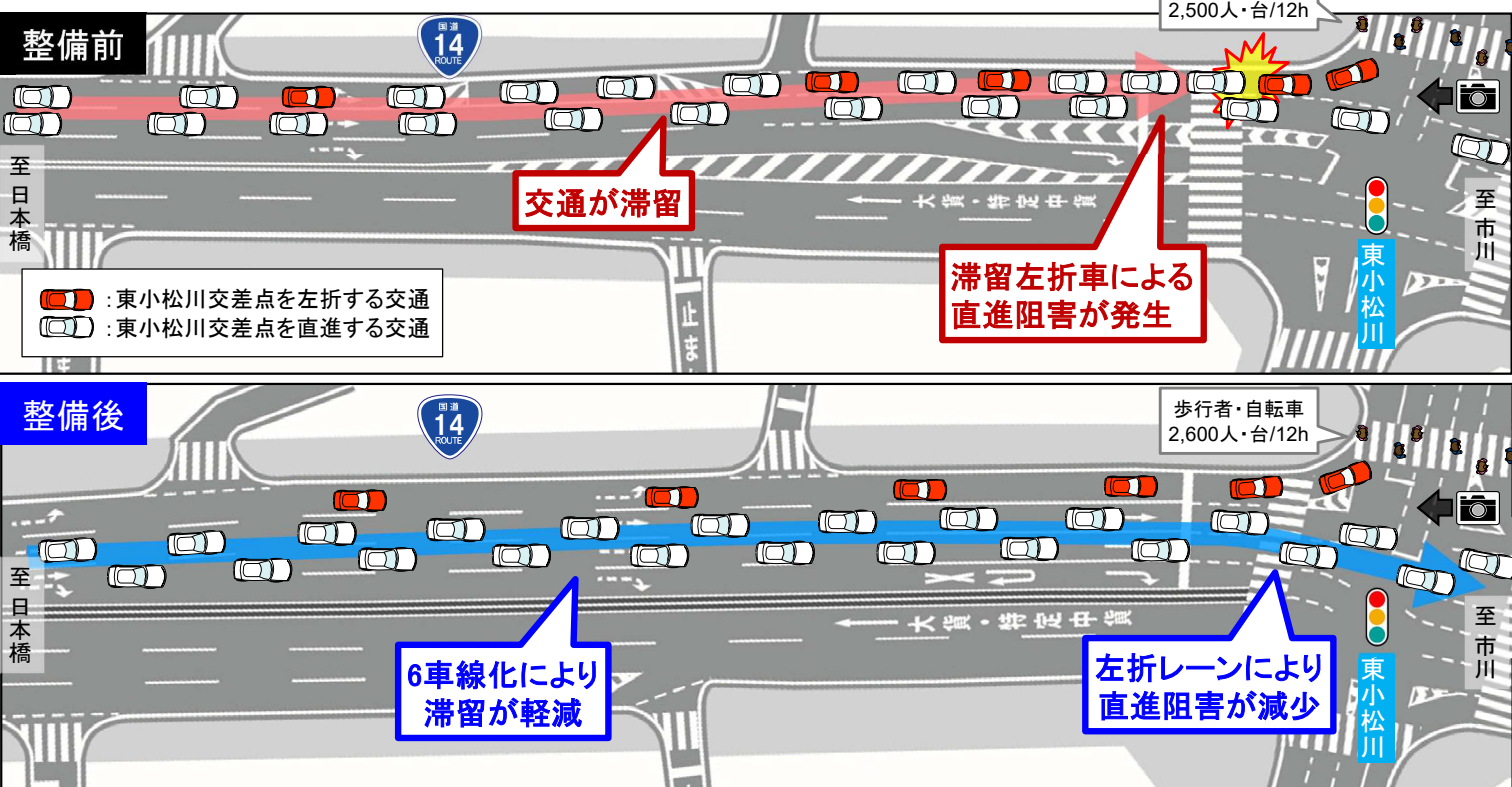
国道14号を走行する周辺企業の声

- ・6車線化により渋滞が緩和し、走行環境が改善されたように感じる。
- ・朝の混雑は依然あるものの、他の時間帯は少し混雑が少なくなったと感じます。

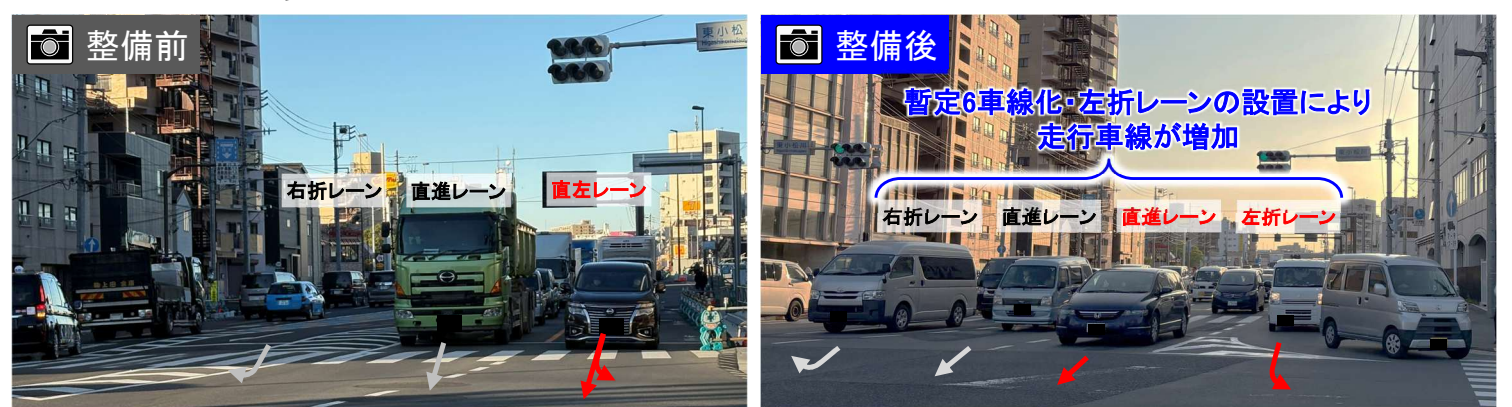
小松川地区Ⅰ期区間 下り線の整備効果

- 左折レーンの新設により左折する車両の旅行速度が約45%向上
- 日中を通して渋滞発生時間が約74%減少。特に夕方の帰宅ラッシュ時の渋滞長が減少
- 周辺企業からは渋滞が緩和し、スムーズに走行できるようになったとの声

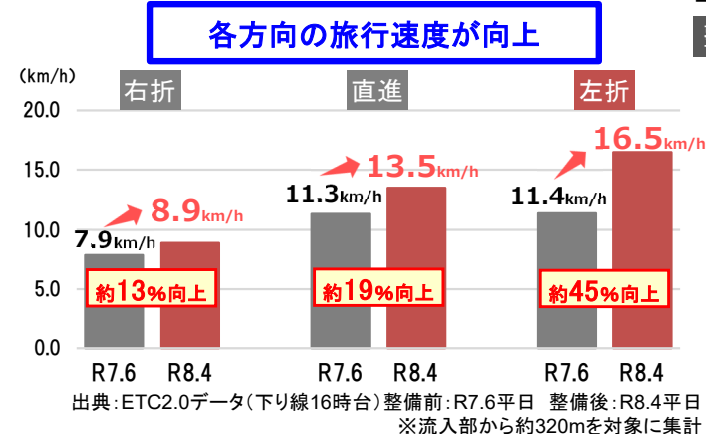
交通挙動の変化(下り線流入部)



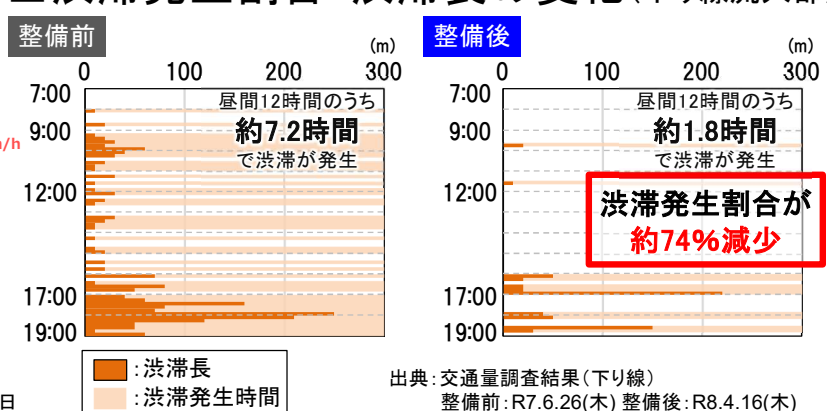
交通状況の変化(下り線流入部)



旅行速度の変化(下り線流入部)



渋滞発生割合・渋滞長の変化(下り線流入部)



国道14号を走行する周辺企業の声

- ・渋滞は依然あるものの、前より交通の流れが良くなったように感じます。
- ・以前よりスムーズに東小松川交差点を通過できるようになりました。

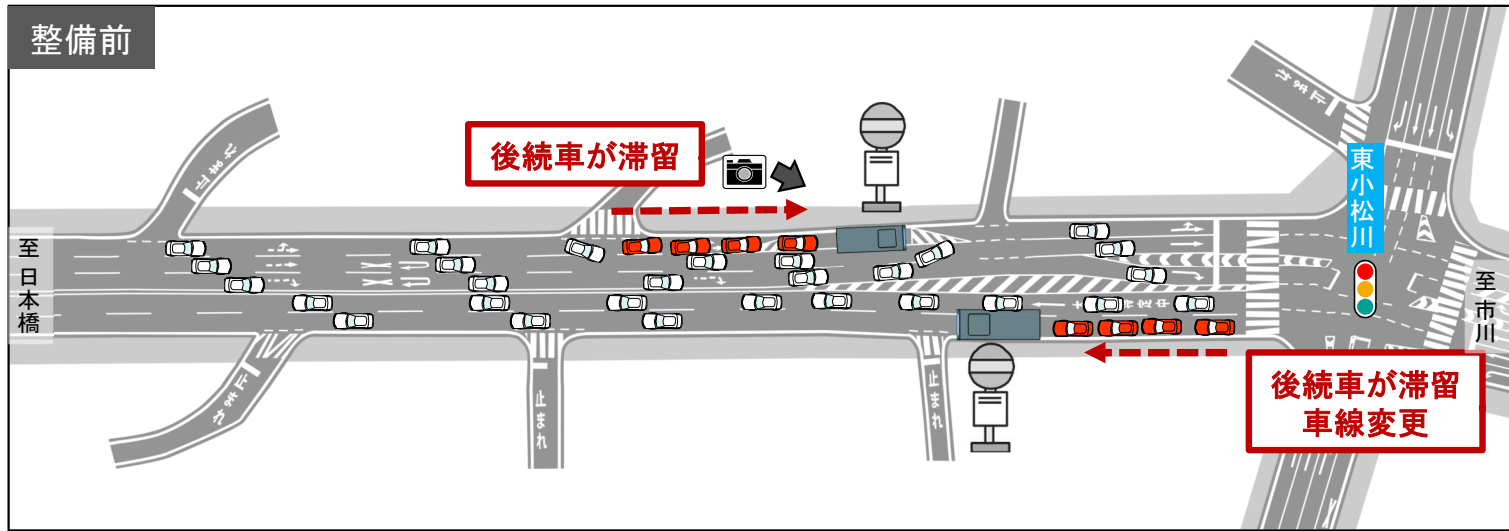
バスベイ設置・バス停移設による交通状況の変化

○バスベイ設置により路線バス乗降時の後続車滞留が軽減

○路線バス事業者・道路利用者からは、後続車滞留解消により心理的負担が軽減したとの声。

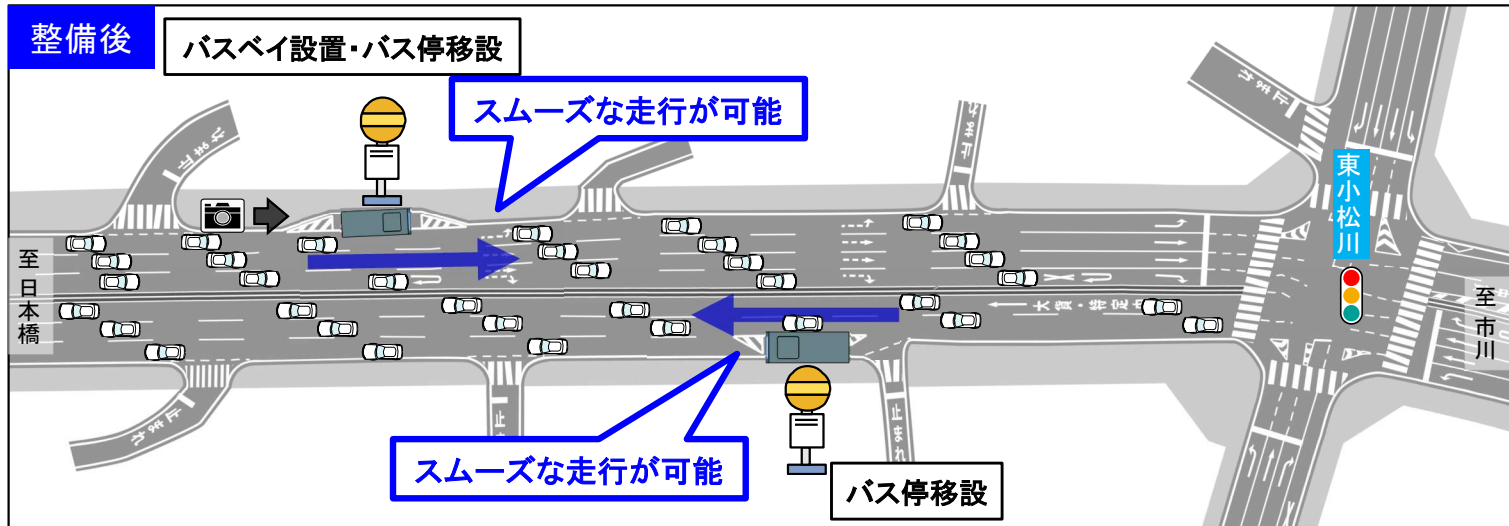
■路線バス走行の変化

整備前



整備後

バスベイ設置・バス停移設



■下り線での路線バス乗降時の様子

整備前



整備後



■路線バス事業者の声

- ・整備前は停車時に後方車が滞留していました。
- ・バスベイの設置により、後方車がなくなり心理的な負担が解消されました。



■道路利用者の声

- ・バスベイの設置により、バス停車による先詰まりが減少し、走行時のストレスが緩和しました。

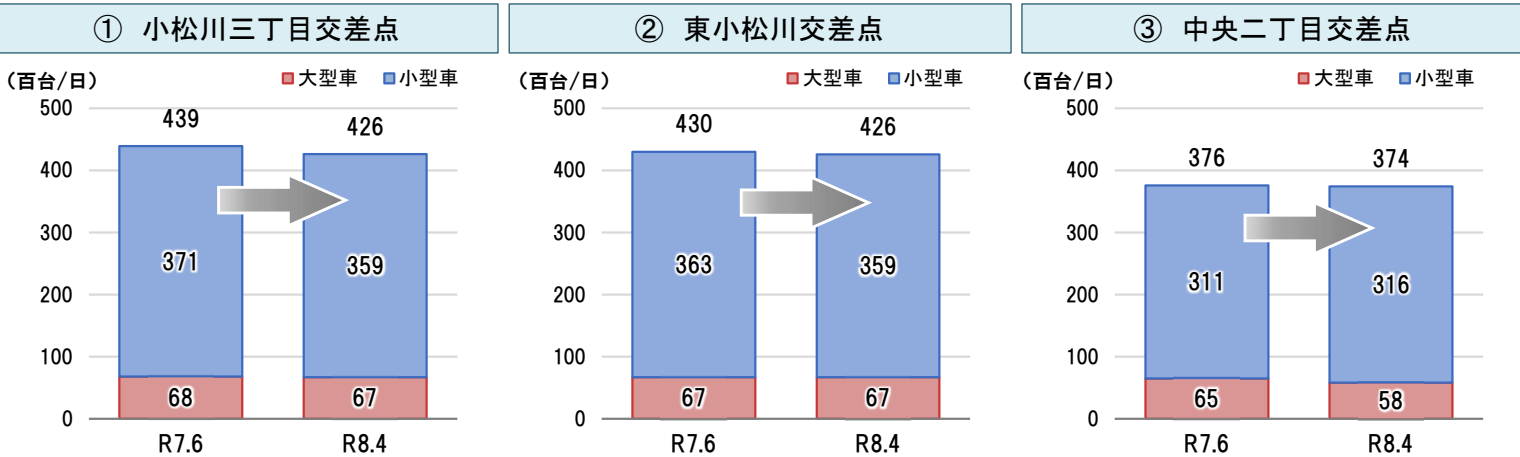
(参考) 国道14号の交通状況の変化

○6車線化した区間の交通量は、約430百台/日→約426百台/日で大きな変化なし。

■国道14号及び周辺路線の交通量の変化



■国道14号での交通量の変化



出典：交通量調査結果 整備前：R7.6.26(木) 整備後：R8.4.16(木)

■事業区間の整備状況

